

浅尾地区の三島神社では、毎年2月16日から17日にかけて「お筒粥の神事」が行われます。先日行われた今年の神事に私も参加させていただいたので、ご報告いたします。
(内海)

「お筒粥の神事」とは・・・

「お筒粥の神事」は全国的に行われている、粥を使った占い「粥占」の一つです。粥は古くから、年中行事や通過儀礼など「ハレ」の日の食物として用いられてきました。「粥占」には、

- ・ 12ヶ月分の筒を鍋に入れて粥の詰まり具合で占うもの
- ・ 農作物の数分の筒を鍋に入れて粥の詰まり具合で占うもの
- ・ 木枝で作った棒の先端を割って粥に入れ、そこに付く粥粒の数で占うもの
- ・ 粥の一部を白や鍋で伏せて、数日置いてカビの生え具合で占うもの

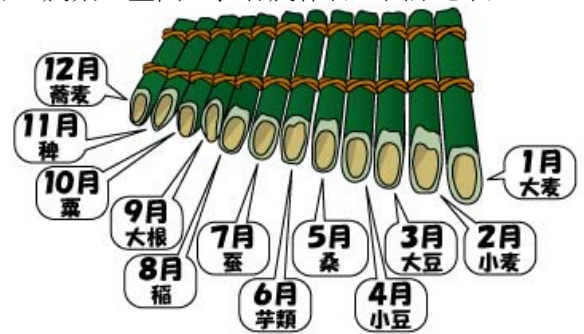
など、様々あります。全国的には、新暦小正月（1月15日前後）に行う地域が多いようです。三島神社の「お筒粥の神事」は、1～12月及び12種類の農作物を割当てた12本の竹筒を麻縄で編み、それを粥を煮ている鍋に入れて占う「粥占」です。竹筒に詰まった粥の量で、各月の農業の豊凶と、各農作物の出来を占います。



三島神社
お筒粥の神事



筒粥神事の様子



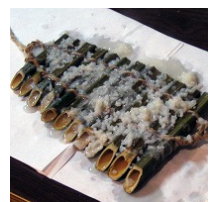
竹筒の割り当て

神事は、神社の氏子さんが参加して16日夜10時の宮司さんの祝詞から始まります。祝詞やお祓いが済んだ後、いよいよ竹筒が鍋の中に入れられます。0時に鍋から出されるまで、ぐつぐつと白米一升分のお粥が煮えていきます。0時までの間、鍋の中を見つめては、「〇〇にはあんまり入っていないな」「今年は△△の出来がいいかもな」などと、占いの予想を立てる場面も。



0時を迎えると、竹筒は鍋から静かに取り出され、いよいよ占いが行われます。氏子総代さんによって、粥の詰まり具合が「上・中（並）・下」と判定されます。その後、宮司さんが太鼓を叩き、占いの結果が出たことを地区に知らせます。三島神社では、占いの結果は公表せず、17日の朝に氏子さんから各戸へと口伝されるのみです。占いの後は、皆で粥を食べます。この粥を食べると、その一年病気知らずで過ごせると言われているそうです。以前は、太鼓の音を聞いて粥を貰いに来る人もいたとか。

三島神社の「お筒粥の神事」が具体的にいつ頃始まったかは定かでないのですが、江戸時代文化11年（1814年）に編纂された『甲斐国志』にはその記述が見られるので、少なくともその時期には行われていたことが分かります。占いの対象になる農作物にも時代が反映されていて、かつての記録を見ると、「温泉」について占っていた時期もあったようです。現在は、11月の筒の「稗」に括弧付で「ぶどう」と書いてありました。これも現在の明野を反映していますね。



今年の農業が、実り多きものであるよう祈っています。

茅ヶ岳歴史文化研究所からのお知らせ
～かやぶん子どもクラブが変わります～



2005年夏からスタートし、年間登録制の放課後子供クラブとしてご利用いただきましたかやぶん子どもクラブですが、助成金制度の変更に伴い、この度クラブの名称および参加方法を変更することとなりました。

2007年4月からは、名称が「ドキドキ！！まいぶんシリーズ」となり、イベント単位で参加申し込みをしていただく体験教室となります。縄文体験・民俗体験など各種の体験の内容はこれまでと変わらず行います。これまで主に行ってきた小中学生対象の教室に加え、親子で参加できるイベントも企画中！

新かやぶん子どもクラブ、「ドキドキ！！まいぶんシリーズ」をよろしくお願い致します。詳しい内容をお問い合わせの方は、茅ヶ岳歴史文化研究所までご連絡下さい。

平成18年度おかげらチャレンジ教室 第6・7回練習が行われました。

2月3日(土)には第6回目の、そして2月17日(土)には第7回目のおかげらチャレンジ教室の練習が行われました。2月に入ってから、発表会そして各神社の春の例大祭での奉納にそなえ、数多くなった練習に、子ども達は熱心に参加しています。

先生に一人一人じっくり舞を教えてもらったり、大人の神楽団の舞のビデオを観て動きを学んだり。次回からはお神楽の衣装、「綺羅」を身に着けての練習です！



茅葺技術保存伝承活動事業 茅場および茅葺民家見学研修のお知らせ

茅葺技術保存伝承活動事業の茅場研修および茅葺民家見学ツアーは3月25日(日)に行われます。参加ご希望の方・詳しい内容をご希望の方はかやぶんまでご連絡ください。

＝かやぶん子どもクラブ＝

3月の予定～

● 茶道教室 第6回目

楽しくお茶の作法を学んで覚えよう。

日にち：3月8日(木) 午後5時～7時

● 明野かるたを作ろう！③(昔の遊び体験)

明野の行事を元にしてかるたを作ってみよう！

日にち：3月13日(火) 午後5時～7時

お問い合わせは茅ヶ岳歴史文化研究所まで。

TEL：0551-25-2019

＝会員募集＝

～茅ヶ岳歴史文化研究所の活動に
あなたの力をかしてください～

こんなことをやってみたい！

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

入会金 1,000円

年会費 5,000円

＝編集後記＝

すでに春を思わせるほどの暖かな陽気が続く中、かやぶんでは新年度の農作業体験イベントを企画中です。今年は何を育てようかな？

子どもクラブの名称は変わりますが、イベントの内容は変わらず、むしろますますパワーアップしていく予定です。どうぞお楽しみに。

かやぶんかわら版 第23号

平成19年2月20日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所
〒407-0204 北杜市明野町上手8310
明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019

ホームページ <http://www.kaya-net.jp>